

バニラ生産者の声



ウガンダのバニラ生産者組合 Mubuku Moringa Vanilla Farmers Association では、2007～2008年の食糧価格の高騰と、フェアトレード市場でバニラの買い手が激減した影響を受け、生活に苦しむ状況が続いていました。

■農園経営者 Kato Bernerd さん

農民はお金を借りて、場合によっては土地を売らないと子どもたちを学校に通わせることができません。いつも飢えている家族もいます。もしフェアトレード価格でバニラを売ることができたら、私たちの生活は大きく変わります。

■オーガニックプロジェクト経営者 Joseph Mbusa さん

農村の女の子の中には、生産が落ち家族の収入が減ると売春させられてしまう子もいます。これは収入に直結した問題です。貧しい生産者は1日1食、よくても2食しか食べることができません。食糧価格高騰の影響を受け、私が知っている限り一番ひどい状況が続いています。